

山口大学 第19回 獣医学科特別セミナー

Global Burden of Disease 2010 (GBD 2010) Study and its policy implications

渋谷健司 先生

(東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学教室教授)

2013年12月18日 (水)

10:30-11:30

農学部3番教室

Global Burden of Disease 2010 (GBD 2010) は、世界の死因、障害、危険因子による疾病負担に関する系統的な国際共同研究である。GBD 2010は、これまでの推計方法を大幅に見直し、また、最新の統計技術を活用し大量のデータ解析を行い、1990年から2010年までの世界の21地域及び187ヶ国の疾病負担および危険因子が寄与する疾病負担の推計を実施した。本講義では、GBDの方法と結果、そしてそれがグローバルヘルス政策に与える意義について解説する。